

国立精神・神経医療研究センター病院にて 外来ショートケア「てんかん学習プログラム」を受講された方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院 外来ショートケア「てんかん学習プログラム」に参加された患者様の診療情報等の一部について、下記の研究で使用します。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2023年12月1日より2025年8月31日までの間に、外来ショートケア「てんかん学習プログラム」に参加された患者様

2. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：外来てんかん患者に対するセルフマネジメント支援の検討

—「てんかん学習プログラム」感想シートの質的分析—

研究期間：2026年1月15日（研究実施許可受領日）～2027年3月31日まで

研究代表者（研究責任者）：宮本 葵

3. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：ありません

情報等：年齢、性別、診断名、発症年齢、罹病期間、病歴、生活歴、社会的属性、重複障害の有無、服薬状況、発作の頻度、外来ショートケアプログラム処方時の主治医のコメント・診察記録・作業療法士による導入面接時の記録、「てんかん学習プログラム」参加時の感想シート記載内容（プログラムのわかりやすさ・満足度、「気になったこと・聞いてみたいこと」、「感想・気づいたこと」）

（取得方法）診療録・感想シートから入手

4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究では、当院の外来ショートケア「てんかん学習プログラム」に参加された方が、プログラムを受けて感じたことや、気になったこと、今後知りたいこと（支援のニーズ）を整理し、よりよい支援やプログラム改善につなげることを目的としています。また、同じような支援を行う他の医療機関でも役立つ知見としてまとめ、学会発表や論文等で公表する予定です。

研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

5. 利用又は提供を開始する予定日

2026年1月15日

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

所属：精神リハビリテーション部 氏名：宮本 瑞

電話番号：042-341-2711

e-mail：miyamoto.ampm※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）